



年頭挨拶



組合員のために事業を通じて一層の奉仕



代表理事組合長

いわたけしげき
岩竹重城

平成二十七年の年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は当組合の事業運営に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年を迎えても酪農を取り巻く環境は、アベノミクスによる為替相場の円安で配合飼料や輸入乾草、生産資材価格が値上がりする中、全国的に酪農家戸数、生乳生産量ともに減少を辿り続け、加えて平成二十六年四月からの消費税が5%から8%への改定も経営に重くのしかかり大変厳しい経営を余儀なくされております。

年末にはバター不足騒ぎ、そして先行きが不透明なTPP交渉の動向等、重い課題を抱えたまま新年を迎え、これらを如何にして乗り越えていくかが大きな課題であり、役職員一同「組合員のために組合事業を通じた一層の奉仕」をと年頭挨拶で求めたところであ

ります。

平成二十六年度乳価交渉結果は、昨年十二月末に平成二十七年四月から飲用向けと発酵向けに限りキログラム当たり三円の値上げと決定されたものの、早速、今年一月より、配合飼料価格は全酪連でトン当たり二千六百五十円、全農で二千五百五十円値上がりとして発表されました。

今年はアメリカの景気次第でドルの利上げによる一層の円安が予想されており、平成二十七年度の乳価交渉は今後の酪農経営状況を見て、酪農経営の基盤強化に向け、再度協議することになるものと思われれます。

組合運営に当たっては、第七次中期三か年計画に沿った事業展開にあたります。組織体制のスリム化に向けた九つの実行項目があります。既に対応できているものもありますが、東部・西部事業所、高宮ミルクボーイの事業所

の在り方、倉庫業務の外部委託化、職員による農家担当制の見直し、予約購買の在り方等、組合員、職員の意見を聴きながら前向きに取り組んで参りたいと思っております。

みわTMRセクターは昨年三月二十八日に竣工式を行い、稼働しております。平成二十六年度飼料イネの確保は目標の六千ロールに對して四千ロールの確保に止まりましたが、飼料イネの設定価格はキログラムあたり十四・五円となり、現在は飼料イネを利用したTMRを製造しております。

平成二十七年度に向けては目標の九千ロール以上の確保が見込まれ、刈取機二台、ラップマシーン四台の購入を計画しております。一円でも安くて良質なTMRを提供することを目標に取り組んでおります。また、農家指導体制の確立も重要なことであります。

今年は、第十四回全日本ホルスタイン共進会が十月二十三日から二十六日の間、北海道で開催され、広島県から五頭の出品を予定しております。

平成二十七年度も組合員の皆様にとって厳しい経営が予想されます。広酪として、「組合員のための組合」であることを基本に置き、役職員一同一丸となって努力して参りますので、ご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。

- ▼新春、県北のある水田に降り積もった雪で制作した、雪だるまをショットしました。
- ▼この雪だるま、何となく映画「アナと雪の女王」に登場した雪だるまのオラフに似ていると思いませんか？
- ▼昨年、ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオズ製作の映画「アナと雪の女王」は大ヒットし、未だにその余韻は十分残っておりますよね。
- ▼ウィキペディアには、日本での興行収入は、2014年6月、『ハリー・ポッターと賢者の石』を上回り、公開128日間で日本歴代3位、世界歴代5位、アニメーション映画としての興行収入は全世界歴代1位と記載されています。
- ▼この映画、ディズニー史上初である二人のプリンセスが主人公として登場し、雪と氷に閉ざされた世界を救う、“真実の愛”を描いた感動のストーリーで、お子さん、お孫さんに誘われて、この映画を鑑賞された酪農関係者も多かったのでは無いでしょうか。
- ▼映画には、様々な登場人物とともに雪だるまの“オラフ”が登場し、滑稽で暖かい演出は鑑賞者の笑いを誘い、心に訴えるシーンもあります。
- ▼私も子供に誘われて、映画を鑑賞した一人ですが、挿入歌にある“ありのまま”が頭に焼き付き、何かの拍子につい口ずさんでしまいます。(笑い)
- ▼今年1年、様々な喜怒哀楽に巡り会うことですが、ありのままの姿で受け入れて過ごしたいものです！
- ▼ありのままの姿みせるのよ〜♪♪



contents

- ② 年頭挨拶
- ⑥ 特集 中国生乳販連「平成二十六年産乳価交渉」
- ⑩ 会議だより
- ⑩ 地域コミュニティ
- ⑩ 森税理士の「ちよつと気になる税務のはなし」
- ⑩ ミルクパーラー
- ⑩ お知らせ
- ⑩ 人事異動
- ⑩ 酪農テレックス

身の丈にあった経営をサポート



代表理事専務

鈴木道弘
すずきみちひろ

あけましておめでとうございます。今年、未年、明るい穏やかな一年でありますよう心より願うものです。酪農情勢はいよいよ混迷を深め全国

活用を図り、県内育成施設の運営と、国産粗飼料(飼料イネWCS)を利用したTMR飼料の普及に努め、身の丈にあった経営をサポートする組織を目標的に廃業が続き、生乳生産量の減少が社会問題化しつつあります。農政も思い切った畜酪対策を実行するようです。私たち役職員も知恵と行動力でこの急場を乗り切り、是非とも酪農家と地域を守りたいと思っております。そのために、畜産クラスターの積極的な利用と、県内育成施設の運営と、国産粗飼料(飼料イネWCS)を利用したTMR飼料の普及に努め、身の丈にあった経営をサポートする組織を目標

に第七次中期三カ年計画の達成に努力していきます。ある予測によると十年後の日本は七百万人の認知症を抱えると言われてます。牛乳の力と『おかげさまハロニョ』のキャッチフレーズが何となく信憑性を帯びてくる予感がします。メガ、ギガ酪農だけでは日本の酪農業と牛乳文化は守れません。羊の性質は、おとなしく群れを成して行動すると言われてます。組合員の皆様と目標を共有し、一丸となってぶれることなく目的を達成する一年としたいと思います。ご支援ご協力をお願い致します。



あけまして
おめでとうございます

役員の末年に思う

メッセージ

今年一年、
宜しく願いします



■理事 温泉川寛明

厳しい酪農状況が続く、TPPもどうなるか、暗いトンネルを抜けられ、きつと明るい景色が見えると思えば、今やるべきことをやりながら頑張ります。



■理事 柿原徳則

世間の情勢はアベノミックス効果が出つつありますが、地方には波及効果がでないのが実情でないでしょうか？それにも増して酪農は依然厳しい中で「自守」「自立」経営を夢見ています。正夢になりますよう頑張つて行こうではありませんか。



■理事 藤岡辰彦

世界中が不安定で大変な時期です。日本の農業も先行き不透明です。皆で連携を保ち、無駄を少なくして乳量を出すよう、健康に気を付けて頑張ります。個人の力では改革は出来ないので、国の力強い支援をお願いしたいと思います。



■理事 大上浩也

長く続く酪農を取り巻く悪い環境の出口も中々見いだせずにいる状況の中で、どうにか風穴を開けておられます。本年も微力ではありますが、尽力する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



■理事 三浦貴美子

TPPや乳価などの政治的な問題、疾病管理や後継者等の個々の問題と幅広い課題があります。多岐にわたる多くの問題を少しずつでもクリアして、皆さんと一緒に本来の酪農の素晴らしさを感じられる環境を作れたらと思います。



■理事 沖 正文

乳牛の想いを込めて知恵を出す。日本酪農のあるべき姿を広略として、将来を見据え着実に実行出来るよう努力していきます。



■理事 川角晴俊

明けまして、おめでとうございます。本年も自分出来ることを精一杯やっつけていきたいと思っています。



■代表監事 池田道明

耐え難きを耐え、忍び難きを忍んだ昨年でした。今年こそは酪農に陽がさして、希望が持てる年になることを祈念します。



■理事 和田慎吾

酪農業を取り巻く環境は厳しい時代です。日々の積み重ねが実績・収入となつて組合員の努力が報われる年になることを願います。未来を見据え、組合のために貢献出来るよう全力で頑張りたいと決意、取り組んで参ります。



■理事 下岡正宏

今年も長いトンネルからなかなか出られない状況の中ですが、今一度自分の足元をしつかりと見つめ直して、普段面倒で先送りをしている事から始めてみるのが大切ではないかと思います。



■監事 森下政憲

如何に生き残るか。まさにサバイバルゲーム。獣と世界経済が襲いかかってくる。獣を手なずけたら家畜だし、それで世界の欲しいものを作っている。主役は誰、酪農家でしょう。



■監事 齊藤正和

新年を迎え、酪農情勢が直ぐには好転するとは思えませんが、創意工夫して頂き、努力が報われることが出来ればと思います。何はともあれ乳を搾りましょう。



■監事 林 智行

今年は未年、忍耐強く将来に希望をもてる酪農経営が来ることを願う一年としたいと思います。